



逢見事務局長の3

ココ
だけの 新

稀代の愚策!? 政府・与党の軽減税率

金持ちに恩恵 「キャビアの矛盾」

政府・与党が決めた消費税の軽減税率は、まったく奇妙なものです。

欧州諸国はすでに15〜20%の消費税が導入されています。こうした国々では食料品に軽減税率が適用されていますが、さまざまな問題を抱えています。よく言われるのは「キャビアの矛盾」というものです。パンのような基礎的食料だけでなく、キャビア（チョウザメの卵）のような高級食材にも軽減税率が適用されてしまったため、金持ちが結果的に恩恵を被るという矛盾です。

日本でもこうした矛盾は起こります。グラムいくらの豚コマ肉も、A5ランクの牛ステーキ肉も同様に軽減税率が適用されます。結果、恩恵を多く受けるのは金持ち層ということになります。

食料品は一律軽減税率を適用させるようですが、外食は一般税率になるそうです。そうすると、家で松阪牛などのブランド牛で焼きステーキをやっても、その食材は軽減

税率、一方、牛丼チェーンで並盛り380円の牛丼を食べたら一般税率になります。低所得者対策にならないことは明らかです。

外食の定義は、椅子に座って食事ができることだそうです。持ち帰りは加工食品と見なして軽減税率になるそうです。だから、立って食べるのは軽減税率です。ヨーロッパで問題になっているのは、ハンバーガーショップの店内で食べると税率が高くなるので、歩道で食べる人が多いことです。そのため、ごみが散らかってハンバーガーショップの近所から苦情が出ているそうです。日本もそうなるかもしれません。

手間もコストもかかるのに 出前なら軽減税率

立ち食いそば屋で、一部カウンタに座席があるところは税率をどう区別するのですかね。屋台のおでん屋で食事をする場合も椅子があれば一般税率です。これからはビールケースを椅子代わりにする店が増えるそうですね。高速道路のサービスエリアで、ホットドッグを買ってフード

コートで座って食べると一般税率ということになります。きつとサービスエリアの外で食べる人が増えるでしょう。この際、行儀の良い悪いは考えていられませんから。野球場で、売店でビールを買って観客席で飲むのは軽減税率、スタンドで販売員から直接ビールを買うのは一般税率になるって、なんかおかしいですね。もつとわからないのは、出前を頼むと軽減税率になることです。どう考えても、出前のほうが手間もコストもかかっているのに。

客 おたくの天ぷらそばは、確かエビ天が2本入っていたと思うけど、出前で届いた天ぷらそばは、エビ天が1本しか入ってなかったよ。何かの間違いじゃないかい。

店主 へえ、間違いじゃありません。出前は軽減税率になりますので、天ぷらのほうも軽減しておきました。

